

# フィールド風

(341)

宮田守男

5月中旬、長野市ホテル国際21で開催された第57回2019年度長野県日中友好協会定期大会に北アルプス日中友好協会11人のメン

バーで出席する。大会冒頭、婦人会員が壇上に整列し、日中友好の歌「永遠の友情」を参加者と大合唱。「打ち寄せる波は一つ」、「仰ぎ見る空は一つ」、「深い合つ心は一つ」と「深い・熱い・とわの友情」と想いを込める。最後に、「お互いに等身大の理解を進め、本年から始まる日中青少年交流推進年への積極的な取り組みを進める」との大会宣言が採択された。

「言論NPO」と「中国国際出版集団」が共同で実施した日中アンケートでも、中国人の北地域でも、二人を知る人は多い。今後、特に中国からの観光客の誘客、教育旅行の受け

「表」の一字が中にすっぱり収まってい

「人」と「人」との信頼関係が求められるなら

新聞各紙が報道。続報で中国側の「密命書」が見つかると爆破を裏付ける「証拠」も掲げ、各紙は中国側を非難する論陣を展開した。今では、あの事件は関東軍の自作自演だったことを知っている。

昔話で済ませず、これからも政府が何か言ったら「それが真実か」問えと琉球新聞のコラム金口木舌さんが伝えた。大北地域には、多くの歴史や多様な考えを持つ人が訪れるだろう。だからこそ、先入観を排除して「人」として対応できる見識を持ちたいものである。(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)

何故か日本人は、中国・韓国などに好感を

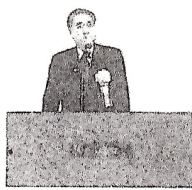
持てない事も事実。

作家の芥川龍之介は、文学の存在理由として「人間の社会は基

礎

礎

## 第57回 2019年度 長野県日中友好協会定期大会



来賓で挨拶する阿部知事、民間主導の白馬村森日中友好活動の大切さを話す